

よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす
中小企業家同友会の学びと実践

「私と中同協が歩んだ道」

2026.8.1 全国保険医団体連合会
第55回 夏季セミナー

中小企業家同友会全国協議会
(株)ヒロハマ

会長 廣瀨 泰久

1-1 自己紹介 (株)ヒロハマ

■ 総合缶パーツメーカー



キャップ／CAP



口金／NECK

1-2 自己紹介 中小企業家同友会

- 組織／47都道府県に中小企業家同友会
全国的には全国協議会（中同協）
- 会員／中小企業経営者 47,800名 コロナ前を回復し、過去最高会勢を更新中
- 活動／全国500の支部・地区で経営の学び合い月例会6,000回／年 平均参加率30%
その他、共同求人・社員教育・経営指針・障害者雇用・環境・政策・対外等の委員会

同友会理念

- 三つの目的
よい会社、よい経営者、良い経営環境をめざす
- 自主・民主・連帯の精神
自主／自主的に活動、自助努力を基本、自分たちでつくる運動
民主／民主的運営（ボス支配なし・全員一致）、人間尊重経営
連帯／他団体とも協力、自他の良さを生かす
- 国民や地域と共に歩む中小企業
悪徳商人にはならない、地域課題を自社の課題に

2. 中小企業家同友会での学びと実践

- 経営者としての自覚
- 経営力向上：社会性・人間性・科学性
- 自身のあり方・周りへの関心と良き働きかけ
中小企業家としての誇りを

■ 経営者としての自覚

社員に対する責任／入会前にパート雇止めから大きな労働問題に。

同友会で「社員の生涯設計に責任を持て」と学び、反省。

公私の峻別／8人中7人が身内という役員構成。

常に1割配当で自己資本比率もきわめて低いまま

経営理念／新規事業で失敗。何のための経営か、答えなし

- ➡ 元支部長のサイゼリヤ創業者正垣さんから「自分のしたことで人が喜んでくれると嬉しい」だから「人が喜んでくれることを、最も効率的な分業の仕組みで行うのが経営」と
- ➡ 「何が嬉しいか」を考えたとき、お客さんが喜んでくれること、社員がやりがいを持って働いていることが文句なしに嬉しいとの気づき
- ➡ その二つを言葉を変えて経営理念にしたことで、経営者としての義務感から歓びへ180度転換

＜経営理念＞

- 一、缶パーツとその関連技術を通じて、
缶の社会貢献を全面的に支援しよう
- 一、一人一人の持つすべての能力を、
共にベストの形で花開かせよう
- 一、現場で現物を見て現実を把握し、原理原則にのっとして対処しよう
- 一、お客様と我々自身に還元するために、一切のムリ・ムダ・ムラを無くして最大の利益を追求しよう
- 一、国内外を問わず、自らの可能性を追求し、仕事を通じて社会に貢献しよう

■ 経営力の向上：社会性・人間性・科学性

社会性／社会貢献性、缶の業界を全面的に支援

- ➡ 品質・安定供給・コスト・品揃え・技術支援・提案営業の全てにおいて業界No1へ
例）他社製品が装着された缶でも、依頼に応じて不具合原因を一日で調査、報告

人間性／真の人間尊重、自他共に貶めない

- ➡ 人が育つ職能資格制度（仕事・給料・考課・教育の連動）と、自己申告・面接の実施
- ➡ 誰もがその素晴らしさを発揮できる環境（就労困難者の採用）

科学性／数字で語れ、理念・方針・PDCA

- ➡ 数字が最も具体的 例1)「大至急ね！」
例2) 人時生産性（一人が1時間に稼ぐ付加価値）×年総労働時間×労働分配率＝年間給与
2,000円×2,000時間×50%=200万円
- ➡ 理念を具体化する方針、それを形にする計画、全社計画から部門計画・週次個人計画まで
- ➡ 毎月営業日5日目に数字と課題の進捗を振り返り

■ 自身のあり方・周りへの関心と良き働きかけ 中小企業家としての誇りを

周りへの良き影響力発揮

➡ 「自分は頑張るが、周りには関心なし」

しかし、大きなお世話をするのが同友会。自分だけのことを考えるより、人のために何かをすることの方が喜びが大きいことへの気づき

良い経営者になろう

➡ 「全人格的成長をめざす」ことを中同協青年部連絡会ビジョンの一つに掲げることを提案

➡ 屈託なく運動する、生きる（助言は素直に受け入れる、間違った指摘は笑って流す）

より良き社会づくりへ

➡ お客さんは全国なので「地域」には無関心だった

しかし、同友会で地域との関りを論議する中で、「ヒロハマさんは全国からお金を集めて、千葉に給料として配っているんだから、凄い！」と言われて覚醒

さらに中小企業憲章・条例づくりに関わることで、地域活性化の主体者としての使命も自覚
世のため人のために真摯に取り組む経営は、限りなく崇高な営み。もっと誇りを持とう

<追記> 「平和」に対する同友会の姿勢について

■ 同友会の三つの目的（良い会社・良い経営者・良い経営環境を）

① 同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

② 同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

③ 同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、**日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。**

■ 中小企業は平和な社会でのみ繁栄を継続できる

■ 中小企業問題全国経営研究集会で、毎年平和に関する分科会開催

（論議の場を用意する）

■ ベネズエラ・イランへの攻撃に対する会長談話